

令和4年度 学校評価
自己評価及び学校関係者評価

学校名	坂戸市立住吉中学校
実施日	2月15日(水)

○「自己評価」及び「学校関係者評価委員会評価」の欄には、A～Dを記入してください。

評価 A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない

○「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄には、理由及び自己評価の結果をどのように受け止めているかを記入ください。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
	1	学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校により常に学校教育目標が載せられていて、意識が高まる。 職員も常に学校教育目標を意識して教育活動に取り組める働きかけができるように良いと思います。 学校によりやPT、会議でも呼びかけており、意識できている。 学校教育目標の達成に向けて研修に取り組んでいると思う。研修の質をより上げられると、より良いと思います。 具現化のための指導の重点とは、「住吉中学校5進の目標」と重なる部分があると思う。教職員の中で共有し、皆で力をあわせていけるように努力する。 年度途中ではあったが、柔軟に舵を切りながら、教職員研修や授業研修を取り入れるなど、学校教育目標に根差した生徒の成長につながる取組ができています。 いろいろなことをやってく中で、PDCAサイクルに乗せられるとより良い。 よく研修等でも全職員理解しながら行っていると思う。 教育活動の振り返りあと、全体での共有できるよう、担当の振り返り→全体での共有・話し合いがあるといいと思います。形式的になってしまってもいいが、全体での共有がほしい。 各教育活動において反省を行い、次の計画に生かしていくことを確実にできるとよいと思います。 評価し、改善していくサイクルに乗せたい。 行っていると考える。 わかりやすいし、覚えやすい。 これを意識させる機会や取組、働きかけを、日々、教育活動の中で行ってきたい。 毎月学校朝会を設けることができると、校長先生のお話を聴く機会が増え、より浸透していくと考える。 具体的にどんなことができたら、「優しく・賢く・逞しく」に当たるのか生徒に話す・掲示物等で掲示するとよいと考える。 生徒がよく考えながら活動していると思う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 目標がわかりやすくよいと思います。 教育目標は短期で変わるものではないでしょうか。勝呂・三芳野地区の中で、看板のほり旗など立てられないでしょうか。児童公園、公民館付近、大きな交差点など。本人、家庭、学校にプラスして地域の中にも浸透し、理解してもらえるとよい。
	2	学校は、災害、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応している。	B	<ul style="list-style-type: none"> 校長先生が朝の職員でよく話をしている。 災害時、緊急放送などを活用する機会が増えてきたと思います。 途中から着任した職員に対しても連絡体制の確認をすより良いと思います。 学校という職場では、マニュアルを確認する機会があまりないのが当たり前なのではないか。勉強不足でよくわかりませんが、年度の中頃にも確認する機会があるとよいと個人的は感じます。年度途中から本校に来てくれる先生もいらっしゃるの 自分自身が把握できていない。 安全担当を中心に考えられている。 不審者対応訓練を行ったほうがいい。マニュアルはあるが、把握しきれていない。 不審者対応等、柔軟な研修や訓練を実施できるとより良いと思います。 保健的対応の研修は設けられていますが、その他の研修訓練は行えていません。 学期に1回は避難訓練を行いたいです。 交通事故防止につながる生徒たちへの朝の会での担任からの話など、適宜行うことができている。また、安全主任を中心に、避難訓練の改善等、よくできていた。 避難訓練を行っているが、休み時間や生徒や生徒や教員に予告なし(担当、管理職は把握)で行うなどより実践的な工夫をしてもいいのではないかと思います。 行ってはいる。効果がどれだけあるのかは正直分からない。 AED研修や訓練等よく考えられている。 生徒指導の迅速さに欠ける場面もある。当日・翌日には対応を考えたい。 救急車対応などが適切にできていた。 連絡するべき優先度を意識しながら職員全体に迅速に伝達できるとより良いと思います。 タブレット等の掲示板で何か起こったら書き込むなどをして、逐一共有していきたい。 学年をまたいだ指導に課題があります。もっと学年間で連携をとる必要があります。 生徒指導の動き始めは早くできていることが多い。 生徒に対し、丁寧に対応していると思う。 組織的対応を意識するあまり迅速になれない部分がありました。 生徒指導を中心に対応している。 小さなことでも学年や部会、学校として対応するとより良いと思います。 校長先生、教頭先生がとても親切に対応してくれます。また、学年の先生たちも協力して対応してくれます。 組織的な対応ができるようにしていきたいです。 事前に共有することや今後もアンテナを高くして行っていくことが大切である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校だけでなく地域としても協力していきたいと思っています。 時間的余裕がない中で、とても良く行っているように感じる。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	3	学校は、働き方改革を意識して、職員の勤務体制の改善を図っている。(共通項目)	B	<p>・毎月超過時間を教えていただきありがとうございます。 ・予定と実際がどうなっているか把握することが必要と考えます。 ・個人の勤務時間外在校時間の配量が配られることで、自分の勤務に関する時間が可視化できてよかった。 ・管理職を中心に活用されている。 ・水曜日に固定したいが、なかなか難しい。月曜日がノー残業だったり、リズムが狂う。ノー残業なのに、働いている人が多いので、個人の仕事の量によりますが、個人で意識して早く帰れるようにしていきたい。 ・設定はされているが、なかなか帰宅できていません。すみません。 ・業務の削減を職員全体で考えながら行っていく。 ・まだまだ有効には機能していない。ノー残業デーの日は研修などを入れずにくれればありがたい。 ・年間行事に入れる必要があるのか ・ノー残業デーを全職員が徹底して実行できるとより良いと思います ・仕事がありなかなか帰れない。 ・ノー残業デーを、本当にノー残業にするためには、その他の日の労働環境も整えるが必要だと思います。結局その他の日に、ノー残業デー分の仕事を、中には土日に行ったり、持ち帰りで仕事をされている話も多く耳にします。 ・一斉下校を行う。 ・自分自身は早く帰るようにしているが、役割が多い先生は難しいこともあると思います。 ・ノー残業デーを部活動のない毎週水曜日に設定して、それを壊すことのないようにできるといい。(仮に月曜日に職員会議等で部活ができなくても、水曜日にスライドすることなく、毎週水曜日は完全部活動実施しないこととする等の対応が必要であると考える。) また、毎月1回のふれあいデーも、県の指針にしたがい、完全実施したい。 ・設定されているが、何かあるのかと言えば普段と変わっていない気がする。 ・管理職を中心に声をかけていただいているが、実際には帰れていない現状もある。 ・体育祭が忙しい。(今年は開催時期が早かった。またダンスに時間をとられ、競技練習の時間があまりない。)担当の方の気持ちや見直すための時間を考えると見直しをやめたりしがちだが、そこを乗り越えて不断の見直しは必要。 ・以前よりは見直しが浸透していると思うが、まだまだ足りないと思います。 ・行事検討委員会の活用をしていけるとよいと思います。</p> <p>・時間が足りず、十分な議論が行えていない。 ・アンケート等も活用しながらできるだけ多くの意見を聞けるとより良いと思います。 ・行事の中でとくに、体育祭に関して、何人かの先生が話題にしてくれていました。その中身の「競技」やその競技の「ルール」の部分も、体育科だけでなく、全職員で事前に検討できたら、もっと全職員で生徒に指導でき、結果的には体育科の先生の負担を少し減らしてあげられると思う。合唱祭についても同様です。他の先生は何も知らないから、担当の先生だけで全部やる状況になっていると思う。 ・会議自体は早く終わっているように感じるが、意見がなかなかでないように感じました。 ・行事検討委員会の組織編成の見直し、昨年度の行事の振り返りを踏まえた計画の実施が必要だと感じます。年度途中で、なくすることができる業務を検討する時間、場があってもいいのではないかと思います。(登校指導など) ・しようとしていることもあるが少数なので、増やしていきたい。 ・答えは出ませんが、管理職の方が「早く帰ろう」と全体に話をする機会がもっとあってもいいかと思えます。たとえば、学期の始まりや終わりの日、部活がない日など。 ・なかなかできていないと思います。すみません。 ・個人的には定期的に取得している。 ・休暇の取得について、例えば定期テストのときに順番に年休を取ることを管理職の先生から、年度当初に勧めてもらえたら、もっと全員が休みやすくなると思う。 ・徐々にできています。 ・打刻カードの「退勤時間目標設定ボックス」は、ないときよりも意識が高まり、良い。 ・昨年度より、全体の退勤時間は早くなっているように感じるが、自分自身も含めて進められていない部分があるように感じます。 ・全体的には早いほうだと思います。休暇に関してはうまく使えていないように思う。 ・個人にかかる負担は大きい。 ・生活ノート(タイムくん)の活用を見直す。 ・ノー残業デーを特別な日にする。(声かけや時間になったら施設するなど) ・タブレットでできることは、紙を使わずにデジタルで処理する。 ・学年で、休暇が取りやすくなるように年休計画を立てる。 ・行事後の反省を行事後に出す。次年度に提案の際も同じように提示する。 ・定期的に行事検討委員会を実施する。</p>	B	<p>・自分の子供達3人がお世話になっている頃から先生方の負担の多さを感じていました。時代は変わってきているので、負担が減るように何か良い方法があると思います。 ・やらなければならない課題があるから残業があり、一方で労働時間が問われるという矛盾した問題ですが、優先順位や作業の効率化など職場の中で、みなさんとなんとか解決策を見出していけるように応援しています。</p>

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
	4	教員は、学力向上に向け、児童生徒にわかりやすく、工夫した授業をしている。 (市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・きっとみんな頑張っています。 ・「主体的・対話的で深い学び」を念頭に置き、「学び合い」の実践を行っていくことが望まれる。 ・はっきりと理解しきれていないというのが正直なところ。他の教員の授業もたくさん見学させてもらおうと思います。 ・様々な研修等でよく考えて取り組んでいる。 ・学び合いの授業をやりたけれど、取り組み方をよくわかっていない先生方が多い印象です。学び合い指導者の先生に講演していただき、住中の職員として共通の意識が持たおかげで、学び合いはさらに進んでいくと思います。またよんでください。 ・校内研修の充実を進めていくことが良いと思う。 ・研修の取り組み方等、全職員が前向きに取り組んでいけるとよいと思います。 ・頑張っている先生がいます。 ・研修の組織を整備していくことが必要だと感じます。 ・研修が必要。ぜひ、来年度から毎月1回以上の校内での授業研究の実施を期待している。 ・学び合い指導者の先生をお呼びした研修で意識は多少変わったように感じるが、毎授業で実践ができていくかという難しいように感じます。 ・何をもって学び合いなのかよくわからない部分がある。本校の学力を伸ばすためにできることを考えていければと思う。 ・学校全体でよく考えられていると考える。 ・整備が遅れてしまいました。活用できる環境づくりを進めていきます。 ・教員が使う機会は増えたが、生徒が使う機会をより増やしていきたい。 ・ICTをより多く活用する教員の工夫を共有していくとよいと思います。 ・ただ使うだけならいつでもできますが、本当にその場で使うことが効果的なのかも学んでいくべきだと感じます。まだまだ充実はできていないと思います。 ・持ち帰りにしてから、活用の機会が増えそうだが、まだ活用場面は少ないように感じます。 ・ICTの使用はあるものの、活用できているか、個に応じた学習ができていくかと言われれば考えるべき部分もある。 ・研修部を整備して、どこが良くどこが悪いのか、どこを伸ばしていくのか、分析し、共通認識で、授業改善したほうがよい。 ・課題点の精選を行っていくとよいと思います。 ・みんなきつと頑張っています。 ・各教科においても、教科部会等で分析し、より良い授業改善が図られるとよい。 ・学力の二極化や低学力の生徒を意識した授業改善は不十分なように感じます。また、持ち時間数が多い先生方が多いので授業準備にかかる時間も設けづらいのではないかと思います。 ・学び合い学習の中で生徒が活動している中でサポート中心の授業の実践。 ・分析部会を整備して、状況を把握する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・一気にデジタル化が進み驚いています。どんどん活用して行って欲しいです。 ・毎回の授業訪問で、各先生が工夫した授業を行っている様子がかえりません。整理には時間がかかると思いますが、共通点を多く見出していただいで、共有し、時間削減につなげていただければと思います。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
教育課程・学習	5	教員は、豊かな心を育む授業の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学年により道徳の授業の持ち方に違いがあるような来年度は共通の形で進めていければと感じる。 ・ローテーションも実施して、授業改善に努めています。 ・道徳教育について、職員全体に向けた発信をよりしっかりしていきたい。 ・授業中に話をしたり、生徒指導的な場面であったら、クラスの問題点として触れている。 ・生徒一人一人をよく見ていると思う。 ・少人数がもっとうまく機能できてほしい。数学の少人数など行いたい。 ・個に応じてできている。 ・周りの先生方は日常からこれを大切にして生徒と接してくれている気がします。 ・住吉中の教職員の皆様の生徒への熱心な指導支援に感謝しています。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中での落ち着きが、より増している。 ・社会科で行っていたような探求型の授業がより進むとよい。
	6	児童生徒は、落ち着いた態度で生活し、授業に取り組んでいる。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶する習慣が身につけていない生徒が多い。根気強く教員から挨拶をしていく。また、朝の会の挨拶や授業の挨拶なども適当になってしまわないように、しっかりと行う習慣を身につけさせる。 ・どんな生徒も挨拶ができるように、先生方が先に生徒に対して挨拶をしてあげてほしいです。 ・教員から元気な挨拶をする、そして返すことが大事だと思います。挨拶が良い生徒を褒める。 ・登校指導などの際は、挨拶ができないと感じます。挨拶の大切さをくり返し指導していくことが必要だと感じます。 ・私たち教職員が見本、手本となって、もともと誰に対しても明るく感じよく気持ちの良い挨拶ができると、生徒の挨拶等も、もともと育つと考えます。 ・よくしてくれます。すれ違うと何度でもしてくれます。 ・教員が手本を見せる意識を大切に。間違っていることは、その場でしっかり伝えて言い直させるとよいと思う。 ・先生の言語環境がより良くなれば、生徒へプラスに伝わっていくと考えます。みんなで取り組んでいきましょう。 ・タブレットのクラスルームに教科連絡の写真を貼り付けるなど情報を目視できる環境を作る。 ・忘れ物が多い。話を聞いていない生徒が多い。話の聞き方を指導していく。メモを取る習慣を身につけさせる。 ・いつまでもできない生徒がいます。学校のさらなる呼びかけなのか、家庭のサポートなのか、なにが足りないのかはわかりませんが、生徒自身が、忘れ物をすると自分が勉強を効果的にできずに損をしようと思えるような授業にしたいです。 ・クラスルームを活用する。家庭に協力してもらう。 ・忘れ物をする生徒は多いと感じます。できる工夫と指導を繰り返していきたいと思えます。 ・学びあいを推進していくことで解決できそうです。 ・小学校で身につけていないと中学校では難しい部分もある。全職員共通で話の聞き方を指導していく。小学校に貼ってある話の聞き方などの掲示物を貼るとよいのでは。 ・聴く姿勢の指導を、学校で共通認識をもって、各教員が指導するとより良いと思います。 ・理解するために聴くというのがまだできません。聴いているような姿にはなれていません。 ・朝鑑賞及び学びあいの推進継続により、必ずこの項目を高めます。 ・発言をする生徒が特定化されていることが多いので、朝鑑賞などの取り組みが生かされていけばとおもいます。 ・忘れ物をしたときに、その都度忘れ物をしないための工夫を指導する。 ・クラスルームに教科連絡の写真を載せて、家でクラスルームを確認する癖をつけさせる。 ・ワークなどは授業中にを行い、授業内で完結できるようにする。 ・全体の集会等を開き、集団で過ごせる場を作りたい。 ・朝鑑賞など、意見交換の場、学びあいの場を設け、意図的に伝えあう環境を作る。 ・生徒どうしの会話が気になる部分もある。使う言葉が悪かったり、バカにしたり、陰湿な会話が得意ときもある。 ・生活委員も含め、言葉遣いを気にする取組も行われている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・よく挨拶してくれます。 ・ほとんどの生徒が、自分から先にあいさつをしてくれています。やはり受け手の方は、気持ちが良いものです。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
資質の向上	7	学校は、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事根絶のために意欲的に取り組んでいる。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、チェックリスト等を出していただき、できていますと感ずます。研修ありがとうございます。 チェックリストなど徹底して行ってくれています。 度重ねた不祥事防止研修が生きているはず。 倫理確立委員会での情報提供や声かけありがとうございます。 管理職の先生もとてもよく職員の話聞いてくれます。なにか思っていることがあれば、それぞれが直接本人に言うようになればもっと学校をよくしてくれそうだなと思う部分もあります。 もっともっと、良くしていきましょう。必ずできます。 	B	<ul style="list-style-type: none"> よくやっていると思います。 今後も教職員としての自覚を持ち続けて頑張ってください。
	8	本校の教員は、児童生徒一人一人を認め大切に接している。	B	<ul style="list-style-type: none"> 時と場に応じて正しい言葉かけを考えるべき場面もあった。みなさんでよい人権尊重の意識を高めていきましょう。 教室へ入れない生徒への個別の支援には、住吉中の温かさを感じます。 我が子に接するように生徒を支えられる私たちがあればいいですね。 さわやか相談員と連携できていると感ずます。 	B	<ul style="list-style-type: none"> かつてはいふんあった生徒に対する乱暴な言葉はほとんど聞かれなくなった。優しくればよいわけではないと思うが、強圧にならないようであることと思う。
学習環境	9	学校は、特別支援教育体制の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育コーディネーターの先生が住吉中職員の現在地を親で研修を企画してくださっていること、ありがたいです。 もっと研修の機会をつくっていただくと嬉しいです。 ほかにも交流できる場所はあると思っているので、理解教育などで交流できたらと思います。 コロナ対策を徹底しながら交流を増やすとよいと思います 総合学級の先生方が細かく動いてくださっていると感じます。 年に1度あるのでしょうか。意図的な機会はその1度に限られると思います。 就学支援委員会については、コーディネーターの先生が計画的に行ってくださいています。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 役割をもった先生が、非常に率先して組織を向上させている感があり良いと思う。 今後も特別支援教育の充実をお願いしたい。
	10	学校は、安心安全で機能的な教育環境整備に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 毎月安全点検を実施して、修繕箇所について把握に努めています。 報告は有り難い。更に報告後に、教頭でなくてもできることは改善しようと動いてくださる先生方に、感謝しております。 昨年度、校長先生が柵を直してくださったことがありました。 校舎自体が古いので、色々なところが壊れていて、修復にも限度があるとは感じます。 修繕の予算を考えながら、危険箇所に関する修繕は素早く行ったつもりです。特に危険ではないところは、年度末の修繕費の残り具合を見て、実施していきます。 今までに残って来た資料を整理整頓の必要がある。柵の上に荷物がいっぱいあります。片付けましょう。すっきりしたいです。 生徒用の机が足りません。新しいものを補充してもらえとよいと思います。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 災害、不審者等については、常に最悪の事態を想定して取り組んでほしい。
家庭・地域との連携	11	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ホームページについては、校長先生が頻りに更新してたりなどを掲載してくれています。 私が勤務してきた学校で、一番のホームページだと思っています。 職員はそこでどんな議論がなされたのか、連絡はありますが、詳しくは知りません。 初年度としては、十分であると考えます。さらに推進していきます。 説明会等において、コロナ禍で集合が難しい場合、タブレットでの配信も考えても良いかもしれません。 新型コロナウイルスの影響でやむを得ない部分があるように感じます。 合唱祭でも、できる限り保護者が入れるようにもう少し検討していければと思います。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ホームページについては、どんどん発信していただいても構いません。貴重な情報源だと思います。 「えんじの旗」は、いつも楽しみにしています。「ホームページ」の時代ですが、普段なかなか聞こうとは思わない、気づかない部分でもあるので、活字が自然に目の前に現れてくれるのは、とても新鮮に感じます。 東坂戸のイベントの時のように、校外へ出るチャンスが増え、地域の皆さんに住中生がかかわりがあっていただけたらいいなと思います。
	12	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用し、家庭・地域と連携し子どもの問題解決を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 彩の国ががやき教師塾の学生さんは、日替わりで担任の先生に付いて授業における学習指導や学級指導を学んでいる。とてもよい学びになっていると感じている。 スチューデントインターンシップの学生さんには、教職員として行うべき多岐にわたることを経験していただいている。教職員を目指すための学びとなると感じている。 実習の学生さんに、授業の補助に入るなど、生徒と直接関わられる内容を増やしてあげられたらと思う。 コロナ禍ということもあり、地域の方を積極的に学校に呼ぶということが難しい現状です。 タブレットを活用した家庭で行える課題提示の仕方など、学びを深めていきたい。 家庭での学習について、家庭より生徒へのアプローチに濃淡がある。 家庭学習ノートを作って、取り組ませようか。 家庭との連携を深めるための方策を職員で考えられるとよい良いと思います。 学級通信や学級懇談会、学年保護者会などで共有できていると思う。 家庭学習等にタブレットを活用していく。 クロームブックの持ち帰りから、学習習慣の定着につながるという。そのような策をみなさんと構築していきましょう。 学校応援団やPTAの方々に助けられているが、もっと目に見える形で外部と協力できるといい。 学校に登校することが難しい生徒についても、教育センターと連携して取り組むことができている。 いじめについて、場合によっては、警察や関係諸機関と連携するべき場面が出てくるかもしれない。 家庭学習の開始時刻を決める。家庭学習場所を固定する。などルールを決めることが大切であるとする。 学習の環境づくりを家庭と一緒にやっていく。(生徒が学習中はテレビを消す。保護者の方も読書をするなど) スマートフォンについて、子どもと話し合い、家庭でのルールを決めてもらう。定期的な確認をお願いする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> これからも積極的に、人材発掘をお願いします。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
小中一貫教育	13	学校は、小中一貫教育の視点にたった教育活動を推進している。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携については、担当が中心になって、よくやってくださっている。感謝いたします。 ・たとえば、中学校で無言清掃を行うのなら、小学校と意義を共有し、徹底して実施してもらう必要があると思います。 ・今年は、生徒のコロナ感染状況等により実施が難しくなった。方法を模索していく必要がある。 ・感染症防止の面(コロナ禍)で難しいです。 ・コロナウイルスの関係で、小学校の先生方と直接情報交換はできる場が設けることができなかった。 ・コロナ禍で、小中の教員が相互に係る機会が今年度は持てなかった。(対面での準備はできていたが…)残念である。 ・小中の連携については、今年は担当の先生の負担が大きかったように思う。 ・スタディーウィークを上手に活用してくれている先生がいます。 ・ノースマホデーについては、うまく浸透していない部分もあります。 ・東部4校の課題について、時間を作って明確化していくとよいと思います。 ・コロナ禍ではあるが、教頭同士では連携は行っている。コロナ禍ということもあり、教諭同士で連絡を取り合うことは難しいと思うので、東部4校の課題可決に向けては、校長、教頭、教務でおこない、本校に具体的実践として流していきたい。 ・コロナ禍で難しい場合は、オンラインで小中連携の取組をしてもよいのではないか。 ・スタディーウィークを上手に活用している先生からアドバイスをもらう。 ・「ノースマホデー」については、「スマホを極力使わず(使う時間を減らし)、家庭学習を進める、外で体を動かす。」ことを目的にしてはどうか。名称を変えてみてよいと思う。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどが、住吉中に進学する地域ですので、小中の連携はとても大切だと思います。安心して住中へ！！ ・益々、情報交換が大事かと考えます。